

DIC九州ポリマ 新事務所棟



施設概要

新築/改修	新築
所在地	大分県中津市
地域区分	6 地域
竣工年月	2022年1月
発注者	DIC九州ポリマ(株)
設計者	(株)大有設計
施工者	(株)梅林建設

建物用途	事務所
建築面積	363㎡
延べ面積	971㎡
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上3階
ZEBランク	『ZEB』

建物仕様

屋根	押出法 [※] リスレンフォーム 3種 100mm	空調	パッケージエアコン
外壁	硬質ウレタンフォーム吹付 50mm	換気	DCファン
土間下	押出法 [※] リスレンフォーム 3種 25mm	照明	LED照明器具
窓	アルミサッシ Low-E複層ガラス (Ar16)	給湯	ヒートポンプ給湯機
遮蔽・遮熱	—	昇降機	VVVF制御 (回生なし)
		創エネ	太陽光発電 55.5kW
		その他	BEMS

設計コンセプト

1980年の創業以来、主に塗料用合成樹脂の製造を手掛ける会社である。親会社の「DIC株式会社」は、2019年公表の中期経営計画のなかで、「CO2排出量の長期削減目標として、2030年度30%削減」を示しており、2021年5月には新たな目標として「2030年度50%削減及び、2050年カーボンネットゼロ (DIC NET ZERO 2050)」の実現を目指すことを決めた。

創業40周年記念事業としての新事務所棟計画は、当初からZEBを目標に2019年9月にスタート。経済産業省が公募する「令和3年度ZEB実証事業」に申請し、DICグループでは初めてとなるZEB対応の事務所を2022年1月に完成。また、南海トラフ巨大地震発生時の津波被害を想定し、津波到達高さを超える位置に1階床高さを設定。蓄電池の採用、非常用発電機設置、備蓄倉庫を計画している。

グリーン化の取り組み

- ・空調設備は、パッケージエアコンをメインに、全熱交換器の採用により外気負荷を低減。
- ・照明設備に、在室検知制御、明るさ検知制御を採用。
- ・給湯設備は、ヒートポンプ給湯器を採用。
- ・BEMSを導入しており、負荷コントロール制御を行っている。

